

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] 施策名		[37] 資源循環の促進			主管	環境清掃部 清掃リサイクル課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] II いきいきとした個性あるまち [基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり [小柱] (2)循環型社会づくり				
	10年後のめざす姿	● 資源の分別、再使用、再生利用が定着し、地域の中で資源が大切にされ、環境への負荷が低減されています。				
	主な取り組み	① 家庭ごみの資源化の促進	⑥			
		② 集団回収の支援	⑦			
		③ 事業系ごみの資源化の促進	⑧			
④ 再使用・再生利用活動への支援		⑨				
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		資源回収率	20.1% (25年度)	27.7% (32年度)	20.6% (26年度)	20.8% (27年度)
		資源回収量	11,530 t (25年度)	14,934 t (32年度)	11,652 t (26年度)	11,639 t (27年度)
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		資源回収について、ごみの戸別収集箇所やイベントなどを通して、ごみや資源の分け方、出し方についての普及・啓発に取り組んでいる。その結果、ごみ量の減少とともに区民のリサイクル意識の高まりが見られ、平成27年度は平成25年度比で施策の指標である資源回収率が0.7%、資源回収量が109t増加した。 集団回収は、引き続き、集合住宅や未実施の町会に参加の働きかけを行い、平成27・28年度は行政計画事業の目標を達成した。しかし、集団回収を実施していない町会や集合住宅等も存在し、資源回収量はほぼ横ばいで推移しているため、施策の指標の目標達成に向けて、ポイント型集団回収などを通して区民による資源の分別、再使用、再生利用をさらに定着させる必要がある。				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある					
	学識経験者からの意見	地域住民の高齢化が進む状況のもとで、安定的に集団回収活動を維持できるように、集合住宅への働きかけにより登録団体を増加させ、また排出負担軽減のため「ポイント型集団回収」を工夫したことは評価できる。「花の心プロジェクト」の一環として、家庭で不要となった園芸用土の拠点回収を開始したことも、区民ニーズを汲み取った良い取り組みである。 家庭ごみ組成に占める主要ごみ品目である生ごみについて、環境イベントや講習会などの場を通じて、使いきり・食べきり・水きりの「3きり」啓発の強化、集合住宅でも設置可能なダンボールコンポストやベランダeキエーロなどの使い勝手のよい自家処理機器の普及に注力してほしい。				

施策を構成する行政計画事業の進捗

		(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(115) 集団回収支援	清掃リサイクル課	集団回収支援 10団体(累計406団体)	30団体 (累計436団体)	目標	10団体 (累計416団体)	10団体 (累計426団体)	10団体 (累計436団体)	
					実績	23団体 (累計429団体)	13団体 (累計442団体)	10団体 (累計452団体)	
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
2	(116) 資源回収	清掃リサイクル課	資源回収 推進	推進	目標	推進	推進	推進	
					実績	推進	推進	推進	
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
3					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
4					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				